

学生の皆さんへ

学志舎はとにかくアットホームです。
勉強や進路など、

どんな悩みでも一緒に考えて支えてくれる、
心強い塾長・事務長・コーチ陣がいます。

勉強の取り組み方がわからない人、

進路について悩んでいる人、

ぜひ学志舎に来てください！

私たちが支えます！

今年の春から大学院に進学し、教員になるための勉強しています。

大学の時以上に自分から学ぶ姿勢が必要ですし、

より専門的なことを学ぶ難しさもありますが、

自分なりに努力して頑張っています。

これまでは、与えられたタスクをこなすことだけを考えていましたが、

大学院では積極的に学び、将来教員になった時に活かせるような、

自分の糧となるものを必ず身につけて卒業したいと思っています。

こうして今私が夢に向かって勉強することができているのも、

塾長、事務長をはじめ、コーチの方々など、多くの方の支えがあったからです。

将来の進路に迷っていた高1の春、私を担当して下さったAコーチに相談しました。

親身になって一緒に考えて下さったおかげではっきりと進路が決まりました。

今では、進む道が同じであるAコーチの背中を、ずっと追っています。

あの時学志舎でAコーチと出会っていなかったら今の道には進んでいないと思うと、

本当に出会いに恵まれたなと思います。

「学志舎での思い出」

センター試験の前日、私の携帯に卒塾した1年上の先輩方から多くの激励のメッセージが届きました。

さらに自宅にはお守りが。これには驚きとともに感謝の気持ちでいっぱいになりました。

さらに当日は私が愛知県会場での受験だったため、

早朝一人岐阜駅の改札に向かって、「莉聖ちゃんおはよう!」との声。

振り向くと3年生の時に私を担当して下さった安藤コーチが笑顔で立っていました。

雪で足元が悪い中、朝早く駅まで応援に駆けつけて下さったことに涙がこぼれました。

たった1人の私のために、

それぞれが自分にできることを考えて行動して下さいましたことがすごく嬉しかったです。

普通の予備校とは異なる、一人一人の繋がりが深い学志舎だからこそ経験できたこと。

勉強だけでなく、『人の繋がりの大切さ』も学んだ高校時代でした。

卒塾生 杉山 莉聖 岐阜大学 大学院教育学研究科

「卒塾生 学志舎で語る」 vol.5

力を何%出せたのか? 自分で採点する。

点数よりも、大切なものだと教えています。

学志舎では教師のことを「先生」ではなく「コーチ」と呼びます。

「コーチ (coach)」とは「馬車」の意。

ひいては「大切な人を、その目的地まで送り届ける」という意となります。

彼女と初めて会ったのは高1の時でした。

最初の印象は「まじめそうだけど、人見知り?」

実際にマンツーマン授業で話をすると「芯の強い子だな」と思いました。

担当となった当初は、進路で少し悩んでいました。

親御さんの思う進路と違っていただけです。

しかし、「学校の先生になりたい!」という思いは強くそれに向かってまっしぐら。

親御さんもそんな彼女の応援団になってくださいました。そして大学には余裕で合格。

私と同じ大学、同じ研究室、同じ教授のもと、現在も勉学に励んでいます。

彼女なら、きっと素敵な教師になれると思います。

この国の未来を作るのは子どもたちです。

その子どもたちに関わる私たちの責任は大きいと思います。

共に学び続け、子どもたちのために頑張りましょう。

これからも輝き続ける莉聖ちゃんにいてください!

担当コーチ A 岐阜県在住 教師

学志舎

智をつけよ そして人の為に使わせ



築100年の古民家



1F 小中学生教室



2F 高校教室

〒500-8085 岐阜市白木町92番地
【お問い合わせ】平日10:00～21:00

☎ 058-265-4562



<https://gakushisha.com/>

学志舎

検索

「夢は諦めなければ叶う」は本当でしょうか？

塾の現場から



学志舎事務長
山田 公子

何で
あなた
の夢は
叶う
か？

憧れのテニスプレーヤーが、野球選手が、オリンピックの金メダリストが声を揃えて言います。
「夢は諦めなければ必ず叶う」と。本当にそうでしょうか。

「ゆめ」と読む漢字は「夢」以外に、実はもうひとつあります。
古い言い回しですが、パソコンで「ゆめゆめ」と入力して検索してみてください。
「努々(努努)」と変換されます。意味は「決して～しない」です。
名詞ではなく副詞なのですが、努力の「努」という字が「ゆめ」と読むところに何か暗示的なものを感じます。

そう、夢は諦めなければ必ず叶うのではなく、叶うまで挑戦するものではないでしょうか？
あなたが抱いている将来の夢、それがプロ野球選手にしる医師にしる、何の努力もせずに叶うものではありません。
日々の努力の積み重ねの先に掴み獲るものなのです。もう一つ大切なことは「強く想う」ということです。
例えば、なんとなく散歩をしていたら、富士山に登っていた、なんて人はいません。
「富士山に登るんだ！」と強く思った人だけが登頂できるのです。強く想う→努力することができる。

夢は
努力
しなければ
叶わない！



今年の夏、楽しいことが待っているかもしれません。それを楽しむのもよいでしょう。
しかし一方で、将来の夢を掴む努力も忘れないでほしいのです。

勉強をすることは、あなたにとって辛く楽しくない作業かもしれません。しかし、人の能力を伸ばす訓練とは、元々そういうものなのです。
プロ野球選手も医師も、決して楽しくない辛い作業を積み重ねて今の立場を獲得してきたのです。楽をして掴める夢などありません。
さあ、あなたの夢を掴みに行きましょう。目の前にそのチャンスがきた時、しっかりと掴める握力を身に付けましょう。
学志舎は、あなたの夢を掴む力を確実に強くするために存在します。

オールナイト学習会風景

詳細はHPを御覧ください

夢叶うまで挑戦！ 夏期講習会2021



生徒宣誓



真夜中の目覚し
カキ氷



カキ氷屋さん
(塾長)



夜明け前の
ラストスパート



<https://gakushisha.com/>

学志舎

検索

自律学習の徹底

「言われたことはきちんとこなすが、自分で考えて行動を起こすことが出来ない子が多い」と言われる昨今、学志舎は「学力」＝「学ぶ力」すなわち「自分で考えて、学習できる力」と位置づけ、徹底した自律学習指導を行うことにより、自分で考えて行動できる子どもを数多く育てています。



勉強の習慣付け

小学部

中学・高校の6年間で花開く「基礎学力」を徹底して作るコース



朝6時オールナイト学習会終了

中学部

高校受験のための教科力と自律の養成を徹底して行うコース

国語力最優先指導

20年前、学志舎は岐阜市で初めて小学生「読書コース」を創設し、国語力の強化に力を入れてきました。なぜなら、すべての教科の基本は「国語」だと考えているからです。そして、学志舎は、国語力が受験においても大きな武器となることを、その結果で証明してきたのです。

褒める教育の徹底

褒め上手な親の子は伸びる子が多い、もしくは学力が高い生徒が多いというのは、24年の経験の中で間違いありません。学志舎は18年前に岐阜県では初めてコーチングを導入し、お子さまの存在を認め、良いところを褒めることを徹底して行うことで、お子さまを大きく伸ばしています。

学志舎

岐阜市で24年の塾経営経験を活かし、お子さまのレベル・ステップに合わせたカリキュラムを組み立て、徹底した自律学習指導を行っています。

やる気を起こさせるきっかけとは意外なところにあるものです。初夏のとある日、4月に入塾した中3のK君の数学の質問に答えているときのことでした。突然「塾長、算数と数学って何が違うんですか？」刹那、かつて本で読んだ問題が頭に浮かびました。計算用紙に数字を書かせながらのやり取りは以下のようなものでした。ということで春・夏・冬の長期講習会で生徒の受けが良かった問題その②です。

塾長「0.9999... = 1は正しいかね？」	
K君「1と0.9999...は違うに決まっとる。」	
塾長「xを0.9999...として10倍するといくつになる？」	$x = 0.9999...$
K君「9.9999...」	$x \times 10 = 9.9999...$
塾長「じゃあ10xからxを引いたらどうなる？」	$10x = 9.9999...$
K君「9xイコール9」	$-) \quad x = 0.9999...$
塾長「で、xはいくつになる？」	$9x = 9$
K君「1になった。あれ??？」	$x = 1$

眼鏡の奥の目を丸くして「塾長なんで？」
「きっとこれが数学なんだよ。先生もうまく言えないけど、この辺に算数と数学の違いがあるような気がするね。」
K君にとってこの問題は強烈なショックだったようです。そしてこれ以降苦手の数学に興味を持ったのが猛烈に取り組みました。

数学の点数は60点→76点→94点、5科目合計も337点→415点→446点(ちなみに入塾前は290点台)と頑張り、見事岐阜北高校に合格しました。以降この問題も生徒によく出します。

さて前回の問題と答です。(答は最下段) ① To be to be ten made. 日本語で ()

これまで正解した中3以上の生徒は5人です。不定詞とか過去分詞を習ったがゆえに解けなくなるのですね。ちなみにこの問題で少なからずショックを受け、英語が飛躍的に伸びた生徒はこれまでに... 一人もいません。私がこの問題に遭遇したのは、中3の冬。G社の「中3コース」という雑誌に掲載されていました。必死に考えましたがわからず、答えを見た瞬間に笑いました。「なるほど...」と。これは2問あるうちの①問目。②問目は確か以下のような問題でした。

② Full we care coward to become middle note. 日本語で ()

①問目がストレートな答えではなかったため、発想の転換をしてこの問題は難く解けましたが、皆さんはいかがですか？ (前回の答え: 飛べ飛べ天まで)

褒める教育の徹底

褒め上手な親の子は伸びる子が多い、もしくは学力が高い生徒が多いというのは、24年の経験の中で間違いありません。学志舎は18年前に岐阜県では初めてコーチングを導入し、お子さまの存在を認め、良いところを褒めることを徹底して行うことで、お子さまを大きく伸ばしています。

高校部

本格的な大学受験のための学力形成を徹底して行うコース



合格おめでとう！

〒500-8085 岐阜市白木町92番地
【お問い合わせ】平日10:00～21:00

☎ 058-265-4562

【感染症対策実施中】



<https://gakushisha.com/>

学志舎

検索